

平成30年

第7回八頭町議会定例会

提案理由書

平成30年9月4日

報告第6号

八頭町健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化度を表す指標であります、八頭町健全化判断比率及び資金不足比率を「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定によりまして、報告をするものです。

八頭町の平成29年度決算におきます健全化判断比率は、普通会計の実質収支の赤字額が標準財政規模に占める割合を示します実質赤字比率、また、普通会計と他の特別会計を合わせました連結実質赤字比率とも赤字を生じておりませんので、記載はありません。

標準財政規模に占めます公債費の割合を示しました実質公債費比率は、8.2%で、昨年と比較しまして0.4%増加しました。

また、負債を表します指標の将来負担比率は、8.9%で昨年より3.2%減少しています。

特別会計の公営企業会計におきます資金不足は、ゼロでありますので記載はございません。

現在のところ早期健全化基準に到達する懸念はありませんが、今後も引き続き健全な行財政運営に心掛けていきたいと考えております。

議案第65号

公共下水道長寿命化事業（郡家浄化センター汚泥処理施設更新）電気設備工事（その2）請負契約の締結について

公共下水道長寿命化事業（郡家浄化センター汚泥処理施設更新）電気設備工事（その2）につきましては、去る8月23日に入札を行った結果、鳥取市商栄町251番地10、鳥取電業株式会社 代表取締役 松田憲之氏が5,940万円で落札し、8月27日に仮契約を締結いたしております。

工事の概要は、昨年度更新を実施した汚泥脱水機に関連する電気設備機器類（汚泥処理補助継電器盤、薬品溶解槽現場盤等）を更新するものであります。

平成31年3月29日の完成を予定しております。

議案第66号

八頭町学校教育施設整備基金条例の制定について

廃校をしました学校施設につきましては、国庫補助事業完了後、10年以上経過した施設等を有償で貸与する場合、残存分の国庫納付金として返納する必要があります。

旧の隼小学校につきましては、隼ラボとして、旧の大江小学校は、農泊施設として、両施設とも5年間無償貸与契約としております。

また、両施設とも6年目以降は、有償前提の契約内容となっておりますが、有償貸与の場合、残存価額以上の金額を学校施設整備のための基金に積み立てることにより、国庫納付金を要さないことがあります。

今後、町内学校施設の空調施設整備や大規模改造を計画しておりますので、この度、残存価額相当分の基金積立による学校施設整備を目的とした基金条例を制定しようとするものです。

議案第67号

八頭町税条例の一部改正について

この条例の改正は、鳥取県税条例の改正に伴い町民税の寄附金控除の対象となる法人として、特定非営利法人ハーモニカレッジを指定するものです。

また、地方税法の改正並びに生産性向上特別措置法が平成30年6月6日に施行されたことに伴い、固定資産税の償却資産の特例措置（わがまち特例）が追加されております。

内容は、町内の中小企業事業者が先端設備等導入計画を作成し、生産販売活動に活用する機械装置などを平成33年3月31日までに整備した場合、固定資産税について、3か年間条例で定める割合に軽減を行うものです。

議案第68号

過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について

この条例の改正は、「過疎地域自立促進特別措置法」の一部改正をする法律が平成29年4月1日に施行されたことに伴い、過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の所要の改正を行うものです。

改正内容としましては、これまで過疎地域内において、製造の事業又は旅館業の用に供する設備を新設、又は増設した者について、固定資産税の課税が免除されていましたが、新たに農林水産物等販売業が追加されたものです。

議案第69号

八頭町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆるマイナンバー法は、地方公共団体がマイナンバーを利用して行政事務を行うことが認められているところですが、その条件として、当該自治体の条例に定めること、及び個人情報保護委員会に届け出て、その承認を得ることとなっております。

八頭町においては、各種の事務を本条例に規定しておりますが、この度、特別医療費助成事務と外国人の生活保護事務について、今後の利用の想定から、他の機関と情報連携を行い、提供を受けたい個人情報を追加するものです。

具体的には、特別医療費助成事務については、生活保護情報と各種障害手帳の情報を追加し、外国人の生活保護事務については、地方税情報、障害者関係情報、児童手当等の関係情報、母子及び父子に係る給付金情報などを追加するものです。

なお、本条例改正案が可決された後に、個人情報保護委員会に届出を行い、承認を得る予定です。

議案第70号

町道の路線認定について

整理番号K0316号の郡家堤下2号線は、認定延長80.0メートルで、幅員は6.0メートルから13.1メートルであります。

整理番号K0317号の郡家堤下3号線は、認定延長120.3メートルで、幅員は6.0メートルから13.1メートルであります。

この2路線は、八頭中央森林組合横の民間の大規模宅地造成内の道路であります。重要な路線であり、町道として認定することがふさわしい路線と判断しております。

議案第71号

平成30年度八頭町一般会計補正予算（第4号）

10万単位、特会(億)：万単位

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ12億2,548万8千円を追加しようとするものです。

歳入の主なものをご説明いたします。

地方交付税は普通交付税の決定通知によりまして、2億810万円余を追加いたしました。

国庫支出金では、社会資本整備総合交付金、240万円余、道路整備交付金、270万円を減額し、社会保障・税番号制度システム整備費補

助金、200万円余を増額しました。

県支出金では、和牛振興総合対策事業県補助金、100万円余、鳥取県未利用施設等整備支援事業補助金、2,770万円の追加であります。

繰入金では 介護保険特別会計からの繰入金、1,210万円余、繰越金は、繰越額の確定により、4億7,450万円余、諸収入は、若桜鉄道運行対策室派遣県職員給与等若桜町負担金等、600万円余を追加しております。

町債につきましては、臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴いまして、970万円を減額し、ホッケー場整備事業債、4億6,050万円、公共土木施設災害復旧事業債、1,560万円、農地農業用施設災害復旧事業債、1,410万円、林業施設災害復旧事業債、470万円の追加であります。

今回、職員人件費につきまして、4月の人事異動等に伴います職員人件費の補正を行いました。

一般会計全体では（予算書の27ページ）給料、920万円余、職員手当、310万円余、共済費は、70万円の減額であります。

職員人件費の補正を除きました歳出の主なものを申し上げます。

総務費では、ふるさと納税の委託料、1,260万円余、中私都、下私都プール除却等の工事請負費、2,230万円、旧隼小学校グラウンド舗装工事、1,360万円余を計上しました。

民生費の介護保険特別会計繰出金、880万円余は、人件費に係るものです。

障害者福祉では、自立支援制度事業費で、過年度給付費確定によります国県負担金返納金をそれぞれ340万円余、170万円余、障害者福祉団体支援事業補助金、1,730万円余を計上いたしました。

生活保護扶助費の640万円余は、生活保護費国庫負担金の確定による返納金であります。

次に、農林水産業費です。

農業費では、地力増進作物等奨励事業補助金、210万円余、改善センター等管理費は、国中改善センター施設補修に200万円余の追加であります。

商工費では、旧船岡中学校の企業立地のための施設改修として、委託料、316万円余、工事請負費、5,240万円余、企業家支援補助金、520万円余を計上しました。

土木費では、道路橋梁維持費に290万円余、中村橋改良事業に700万円を増額しております。

消防費では、消防施設等整備補助金、110万円余、防災対策費として、250万円余を計上しております。

教育費は、教育総務費で学校教育施設整備基金積立金に2億1,20

0万円、小学校管理運営費は、空調設備設置委託料、1,090万円余、郡家西小学校多目的トイレ設置費、730万円余、中学校管理運営費に空調設備設置委託料、600万円余、保健体育費で町営ホッケー場整備事業として、4億8,570万円余を計上しております。

災害復旧費では、農地農業用施設災害復旧費委託料、2,180万円、林道施設災害復旧費委託料、720万円、公共土木災害復旧費委託料、1,560万円を追加いたしました。

予備費は、2億6,390万円余を増額しております。

議案第72号

平成30年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億1,692万7千円を追加しようとするものです。

歳入では、国民健康保険税、1,710万円の減額し、一般会計からの繰入金、267万円余、繰越金、1億3,108万円余を計上しました。

歳出では、総務費で人事異動等に伴います職員人件費、267万円余を減額し、財政調整基金積立金、6,499万円を追加しております。また、諸支出金は、過年度分事業費の確定により支払基金への返納金として、558万円余、予備費、4,315万円余を追加しております。

議案第73号

平成30年度八頭町簡易水道特別会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ4,711万7千円を追加しようとするものです。

歳入では、前年度繰越金、4,386万円余、消費税還付金、325万円余を計上しました。

歳出では、一般管理費で西谷見槻配水池配水流量計更新工事費など、1,018万円余、予備費、3,648万円余を追加しております。

議案第74号

平成30年度八頭町住宅資金特別会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ224万円9千円を追加しようとするものです。

歳入では、前年度繰越金、224万9千円、歳出では、予備費、22

4万9千円を追加しました。

議案第75号

平成30年度八頭町公共下水道特別会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ4,021万4千円を追加しようとするものです。

歳入では、前年度繰越金、3,355万円余、消費税還付金、665万円余を計上しております。

歳出では、総務費でマンホールポンプの設備更新、修繕等に1,287万円余、予備費、2,720万円余を追加しました。

議案第76号

平成30年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ7,093万8千円を追加しようとするものです。

歳入では、前年度繰越金、1,993万円余、消費税還付金、2,059万円余、下水道施設整備事業で町債3,040万円の計上であります。

歳出では、総務費で各処理場、中継ポンプの設備更新、修繕等に1,986万円余、集落排水事業費で船岡処理区管路整備工事など、1,785万円余、予備費、3,308万円余を追加しました。

議案第77号

平成30年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億444万1千円を追加しようとするものです。

歳入では、介護給付費等の平成29年度実績に伴います過年度分支払基金交付金、108万円余、介護基金繰入金、885万円、繰越金、9,450万円余を計上しております。

歳出では、総務費の人件費に885万円、平成29年度の精算に伴う国県等への返納金、2,551万円余、一般会計への繰出金、1,218万円余、予備費、5,789万円余を追加しました。

議案第78号

平成30年度八頭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ145万3千円を追加しようとするものです。

歳入では、繰入金、44万円余、前年度繰越金、100万円余を計上し、歳出では、総務費で窓口用端末機器の更新費用、44万円余、予備費、100万円余を追加しております。

議案第79号

平成29年度八頭町一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、6億3,878万9,586円となりました。

翌年度へ繰り越すべき財源、5,425万円を差し引いた実質収支額は、5億8,453万9,586円であります。

主な歳入は、町税が13億3,030万円余で、昨年より2,460万円余の増額となっております。

前年対比1.9パーセントの増で、主因は、町民税の所得割、法人税割の増によるものであります。

なお、町税におきましては、地方税法第15条の7及び18条により、295万円余を不納欠損処理とさせていただきました。

地方消費税交付金は、消費の大きな落込みもなく2億6,460万円余であります。

地方交付税は、合併算定替特例措置の縮減によりまして、前年より約2億4,860万円余の減で、52億8,100万円余となりました。

生活保護費負担金、臨時福祉給付金、地方創生拠点整備交付金等の国庫支出金は、9億7,560万円余、地籍調査事業補助金等の県支出金は、8億6,450万円余であります。

繰越金は、6億3,790万円余で、臨時財政対策債などの町債は、大型建設事業等の減少により、5億9,170万円の減額で8億120万円でありました。

次に歳出であります。主なものを申し上げます。

まず、総務費です。歳出額は、17億32百万円余であります。

男女共同参画事業では、2年目になります「第三次男女共同参画プラン」に沿って、各種講座を開催するとともに、男女共同参画の啓発事業を幅広い年代層に向けて展開しました。

基金の関係では、財政調整基金に1億3,000万円、減債基金に2億円、まちづくり基金に110万円、また、ふるさと納税により、1,480万円余の積立を行い、活用としまして、教育現場でのICT化等の充実を図っております。

人権尊重の関係では、人権教育推進協議会と連携を図り、各集落での人権問題学習会をはじめ、講演会、研究集会の実施など、「八頭町人権を尊重するまちづくり実施計画」に取り組み、差別の解消に向けた啓発推進事業を実施し、人権意識の向上に努めております。

公共交通では、若桜鉄道の観光列車化などにより、旅客人員が前年度と比較して1万5千人余り増加の32万5千人となり、若桜鉄道の収支決算は2年連続の黒字決算となりました。

地方創生推進事業では、地方創生拠点整備交付金を活用して、隼Lab.の改修を実施し、情報関連を中心とする企業に入所いただき、若者による新たな活動が始まりました。

また、近隣市町との広域連携による移住定住相談会の実施や、観光列車「昭和」への改修、PRグッズの作成、八東駅のトイレの改修を行ったところであります。

次に民生費の関係であります。歳出額は、32億28百万円余であります。

臨時福祉給付金事業では、消費税率の引き上げに伴います低所得者の方への適切な配慮のため、臨時福祉給付金支給を行っております。

包括支援センター事業は、高齢者や家族の方の相談窓口（相談件数は昨年度末より91件増の2,826件）として活動し、高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう介護予防支援を行い、高齢者の権利擁護、地域のネットワークづくり、認知症施策を推進いたしました。

また、地域福祉の推進では、大江地区の福祉拠点施設の整備を行うとともに、「第2期地域福祉計画」の策定に取り組み、町社協の「第2次地域福祉活動計画」と一体化した「八頭町地域福祉推進計画」として策定いたしました。

障害者支援事業では、自立支援事業等により、障がいの内容にかかわらず、ニーズに応じた必要なサービスの提供を行い、児童手当給付事業は、中学校終了前までの児童・生徒を対象に、家庭の生活安定と児童・生徒の健全育成に寄与いたしました。

保育所関係では、4月に新生の船岡保育所を開所し、船岡地域児童の保育の充実を図り、また、第2子以降の保育料の無償化により、保護者の負担軽減と特別保育の実施による子育て支援の充実に努めております。

また、低所得世帯への支援では、生活保護費の支給を行ったほか、法の施行に合わせて、生活困窮者自立支援制度による関係機関との連携、チーム支援により、生活課題を抱えておられる方の早期発見・早期支援に努めました。

次に衛生費であります。歳出額は、5億46百万円余であります。

各種の予防接種事業では、接種対象児と未接種児に対し、積極的な受

診勧奨に努め、接種率の向上による感染症発症予防の充実を図り、母子保健事業では、乳幼児の定期健診を行うことで、発達・発育の保持・増進につなげました。

高齢者の健康づくりは、保健センターや各集落、老人クラブ等の会合に出かけ、健康相談、健康教室、講演などを行い、生活習慣病予防と健康増進を図っております。また、長寿健康増進事業では、40歳以上の住民の方を対象に総合検診（がん検診含）、集団検診を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげておりますが、今後も健康増進と医療費の抑制を図るべく、受診率の向上に努めてまいります。

次に農林水産業費であります。歳出額は、13億7百万円余であります。

現在、第4期対策の3年度となります中山間直接支払交付金事業では、集落及び個別協定を合わせ31（面積、370.3ヘクタール）の協定を行い、耕作意欲の向上と耕作放棄地の防止につなげました。

また、鳥取梨生産振興事業では、鳥取オリジナル梨新品種の生産拡大を図るため、新植・改植・SS購入等への助成支援を行い、畜産振興費は、和牛、乳牛の優良精液導入補助及び優良雌牛の導入補助や牛舎の改修により、品種改良による優良牛の繁殖促進を図ったところです。

農地中間管理事業は、中間管理機構が農地所有者から農地を借り受け、集落営農法人への地域集積、経営転換、耕作者集積（22件）を推進しました。

また、多面的機能支払交付金事業では、耕作放棄地の未然防止と農業用施設の管理など、農地維持（62組織）、共同活動（58組織）、長寿命化活動（52組織）に対しまして、支援を行っております。

また、農業ビジョンをもとに水稻部会では八頭米ブランド化推進協会で特産米の「神兔」の生産に取り組んでいただきました。

地籍調査事業につきましては、昨年、3地域合わせまして、新規は7.03平方キロメートルの実施面積であります。進捗率は、町内全体の52.23%となりました。

林業関係では、野生鳥獣被害防止事業で電気柵・ワイヤーメッシュ、（15,982m）やイノシシ（301頭）、シカ（1,622頭）など、捕獲奨励の助成を行い、有害鳥獣の捕獲に積極的に取り組み、農家への被害と負担の軽減を図りました。

森林整備地域活動支援推進事業は、八頭中央森林組合等と活動実施協定（142.39ha）を締結し、森林経営計画の作成と促進を図り、竹林整備事業では、8件（4.12ha）の整備を行っております。また、間伐材搬出促進事業では、間伐材（16,015m³余）の搬出を促進し、森林の健全化等収益の向上を図りました。

商工費です。歳出額は、59百万円余であります。

地元の消費拡大と地域経済の活性化を図るべく、きらめき商品券発行補助や商工会への補助により、商工業者に対します総合的な振興支援を行いました。また、八頭町マルシェ等の各種イベントを通じて町の特産品をはじめ観光PRを行うとともに、関西事務所を拠点として、関西圏における特産品の販路拡大、観光情報発信、企業誘致、誘客に努めたところ です。

次に土木費であります。歳出額は、6億22百万円余であります。

道路橋梁費では、新たに殿西谷線の道路改良に着手し、継続事業として、東鍛冶屋線、新道線、横田1号線の進捗図り、通行の安全の確保に努めております。橋梁につきましても、橋梁点検(40橋)を行うとともに、乾橋の改修を行い、インフラの整備を図りました。

また、八東川水辺プラザ河川公園は、昨年も県内外から多くのグラウンドゴルフ愛好者の方にご利用をいただいております。

災害復旧事業費であります。歳出額は、72百万円余で、台風18号、21号で被災した農地農業用施設、林道施設、公共土木施設復旧に着手し、災害復旧に取り組んでまいりました。

次に消防費であります。歳出額は、3億4千万円余であります。

消防団運営費では、八東地区第2分団が管理します消防自動車及び役場分団の小型動力ポンプ積載車の更新を行っております。消防設備等整備事業では、小型動力ポンプの更新や消防署等関係機関と連携のもと、防災力の向上を図り、有事に備えました。

また、東部広域行政管理組合が行う業務経費を負担し、火災対応や救急・救助活動等、消防活動に円滑な執行を行っているところです。

次に教育費の関係であります。歳出額は、7億58百万円余であります。

スクールバスの運行拡充による登下校時の児童・生徒の安全を確保し、順調な小学校統合1年目を終えることができました。

統合により複式学級が解消され、小学校では、全学年において30人学級の実施、中学校でも全学年で33人学級を実施し、継続して、きめ細かな学校教育の充実に取り組むとともに、SSW(スクールソーシャルワーカー)を配置し、問題を抱える児童・生徒とその家族の支援のため、関係機関と連携しながら問題解決に努めているところです。

また、ICTを活用した教育環境として、小・中学校全学級への電子黒板の配置、プログラミング教育の実施、タブレット端末の整備等を進め、授業の充実を図っております。

第12回目を迎えました森下広一杯マラソン大会は、県内外から1,700人の皆様方に参加をいただき、美しい風景のなかを楽しく走るこ

とで、健康増進と体力向上を図っていただきました。

また、スポーツ指導員を配置し、各小中学校でホッケー競技の普及活動や指導等にも努めております。

最後に公債費の関係であります。歳出額は12億4千万円余です。

昨年度中に償還が終了しました地方債は、22件、一般会計におきます平成29年度末の地方債残高は、119億9,250万円余となっております。

議案第80号

平成29年度八頭町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差引き額は、1億6,448万373円となりました。

歳入では、国民健康保険税、3億5,637万円余を徴収させていただきました。

なお、国民健康保険税におきまして、324万円余を地方税法第15条の7及び第18条により不納欠損処理させていただいております。

療養給付費負担金、調整交付金等につきましては、国、県等からの所定の負担率によるものであります。

歳出では、各種保険給付事業を実施し、被保険者の健康・福祉の増進に努めておりますが、保険給付費は、平成28年度より、6,697万円余減の12億7,661万円余となりました。また、1人当たりの各種保険給付事業は、平成28年度と比較し、5.0パーセントの減となっております。

保健事業では昨年、282人の方に人間ドックを受診していただき、特定健康診査事業の昨年の受診率は45.8（平成28年度、45.2）パーセントでありました。

今後も、健康増進と医療費の抑制を図るべく、受診率の向上に努めてまいります。

議案第81号

平成29年度八頭町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、4,695万4,441円となりました。

翌年度へ繰り越すべき財源、8万1千円を差し引いた実質収支額は、4,687万3,441円であります。

主な歳入は、水道使用料、2億1,318万円余であります。

歳出では、総務費の一般管理費で施設等の修繕費や水質検査他維持費、1億2,176万円余をもちまして、施設の適正な維持管理に努めてお

ります。

また、災害・老朽化・耐震化対策として、丹比系水源送水管整備、横田日下部配水連絡管接続など、水道水の安定供給を図っております。公債費は、1億3,686万円余です。

議案第82号

平成29年度八頭町住宅資金特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、234万8,496円となりました。

主な歳入は、諸収入の住宅新築資金貸付金元利収入ほか1,237万円余であります。

また、平成29年度中に償還の完了した方は、滞納のありました3名の方であります。

歳出では、住宅資金健全化基金分としまして、700万円の基金積立を行いました。

議案第83号

平成29年度八頭町公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、4,781万2,877円となりました。

翌年度へ繰り越すべき財源、1,094万7千円を差し引いた実質収支額は、3,686万5,877円であります。

主な歳入は、使用料、1億1,988万円余、一般会計からの繰入金、2億4,700万円です。

歳出では、総務費の施設管理費、1億118万円余をもちまして、処理施設の適正な維持管理に努めました。

また、長寿命化事業費で、処理施設機器類の更新などを行っております。

公債費は2億4,196万円余です。

議案第84号

平成29年度八頭町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、2,176万7,184円となりました。

歳入は、使用料、1億4,407万円余、繰入金、4億9,600万円が主なものです。

歳出では、総務費の施設管理費、1億8,997万円余の費用をもちまして、施設の適正な管理と公共用水域の水質保全を行っております。また、施設統合事業費で、施設統合に向けた下水道整備構想の策定を行いました。

公債費は、4億1,970万円余です。

議案第85号

平成29年度八頭町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、1億4,123万6,792円となりました。

歳入では、介護保険料、4億6,807万円余を徴収させていただきました。介護給付費国庫負担金、調整交付金等につきましては、国、県等からの所定の負担率によるものであります。

歳出の関係では、平成29年度末の介護保険第1号被保険者数は、5,836人で平成28年度末より83名増加し、要支援・要介護認定者数は、1,199名と、平成28年度より16名増加しております。

保険給付費につきましては、昨年と比較しまして、114万円余、率にして0.6%増加し、20億228万円余となりました。

主因は、地域密着型サービス給付費の増加によるものです。

介護給付費抑制に向け、今後も、地域包括支援センターを中心に、介護予防事業や要介護状態の悪化防止の取り組みを充実、強化してまいります。

議案第86号

平成29年度八頭町宅地造成特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、29万9,554円となりました。

歳入の主なものは、基金からの繰入として、分譲地等の償還金分、1,617万円であります。

歳出では、総務費の積立金で基金利息、5万円余の積立を行っております。

公債費（元金・利子）は1,616万円余となっております。

議案第87号

平成29年度八頭町墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、46万5,938円となりました。

歳入では、使用料で、永代使用料の56万円が主なもので、新たに墓

地2区画の永代使用を許可しております。これで全53区画の墓地のうち49区画の永代使用を許可し、残り4区画となりました。

歳出の主なものは、一般管理費の基金積立金、24万円であります。

議案第88号

平成29年度八頭町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入歳出差し引き額は、110万5,837円となりました。

主な歳入は、後期高齢者医療保険料で、1億1,945万円余を徴収させていただきました。

歳出の主なものは、総務費としまして保険証の発行、保険料納付書の発送等を行っております。保険料、基盤安定負担金を合わせました広域連合への負担金は、1億7,888万円余であります。

議案第89号

平成29年度八頭町上私都財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第90号

平成29年度八頭町市場、覚王寺財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第91号

平成29年度八頭町上津黒、下津黒財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第92号

平成29年度八頭町篠波財産区特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第93号

平成29年度八頭町大江財産区特別会計歳入歳出決算の認定について